

	公表	事業所における自己評価結果
--	----	---------------

事業所名	(社福) 三富福祉会 放課後等デイサービス ハロハロキッズ	公表日 R8年 3 月 23日
------	-------------------------------	-----------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・もう一部屋あると良いな、と思う時はある	賃貸物件の為、増築することは難しい。パーテーション等を使ったり、活動内容に応じて部屋を分けたりしてこれからは工夫しながらやっていきたい
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	2	・職員に一人でも体調不良等で急遽お休みになると足りないと感じる ・人手が足りないと感じる	法的人数はクリア出来ているが、特性に応じた対応、送迎を考えると、後数名は確保したい。法人人事部に相談している。知人に声をかけて人材確保に努力している
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	分かりやすい環境ではあるが、現在すべてにバリアフリー化するまでには至っていないと思う。	各部屋の役割を決めている為、子どもたちも目的を持って理解している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			毎日支援終了後、掃除、消毒をしている。月に数回整理整頓をしている
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		おおむね できていると思う 状況・状態に応じて配慮出来ていると思う	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1		毎月スタッフ会議で話をするが、学生バイトの人たちは、学業優先の為すべてに参加は難しい会議録等読んでもらい、その後説明をする子を中心にかける
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			毎月スタッフ会議・ケース会議を行なっている。必要時には緊急で会議を開いている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		山梨県福祉サービス第三者評価機関の評価は受けていない。現在山梨県には評価機関がない為、来年度も受けることは考えていない。その代わりに、法人の管理者や他事業所の職員等、見学者、外部講師などたくさん来てもらって、風通しの良い環境を作っている
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			法人で第5金曜特別研修に参加してもらっている。県や市町村、他法人からの研修要項が来たらできるだけ参加してもらっている 中華雨滴人材による学習会も行っている
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		児発管・主任職員が作成	偏りのない活動プログラムを作成するように努力している 掲示板、ホワイトボードと皆の目につきやすい所に掲示している
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			児発管・主任職員が計画を作成 スタッフ全員が、アセスメントに協力してくれている
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			相談しながら計画を作成している
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			ケース記録に、計画に沿った支援の様子を記入していくようにしている
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			基本的には、児発管・主任職員で計画、作成するが、会議の時にスタッフからアイデアや要望を聞くようにしている
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			子供たちにたくさんの経験・体験をしてもらい為、毎月、毎日活動内容を変えている
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	3	支援開始前に集まって打ち合わせはしていない 特記や役割分担等は、グループメールで全員に周知している 土曜日・休日は朝打ち合わせをしている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		7	終る時間が違うので、集まった打ち合わせはできない	終礼はできないので、その日にあった特記や緊急性のあることは、グループメールで周知している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		記録には力を入れている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			毎月の会議でモニタリングをしている
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		基本的に児発管・主任職員が出席している	固定の担当を決めずに全員が子供たちの把握が出来るようにシフトを組み、皆で理解していく様にしている
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			各学校の先生方がとても協力的で助かっている
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7			就学児に関しては、利用開始前に関係者会議を行っている
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		各関係機関に情報提供をしている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7			月に一回、市内児童通所事業所連絡会に参加している。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	2		児童クラブや学童との交流は、依頼に対するハードルがとても高い。 公園や外出先での子供たちとの交流はこれからも大事にしていきたい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7		毎回 児発管がさんかしている	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		今年度、保護者も参加可のお一つ分学習会を開催した	これからも、どんどん機会を作って行く予定	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	5	キッズとして保護者会を設立していない	山梨市の保護者会には協力している。キッズの保護者さんたちがざっくばらんに話が出るような茶話会等を企画したいと思っている
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		通信。インスタ開設している	今後もキッズの様子や子供たちの笑顔を皆に伝えていきたい
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7		機会を設けていない
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			毎月の避難訓練・動画を見ながらの学習活動を行っている 安全計画を作成、各保護者に説明し配布している
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			毎年、安全計画を作成している 消防に來てもらいキッズ内の確認をしてもらっている AEDを設置している
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			法人全体でも取り組んでいる
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7			今の所、対象児はいない	